

問

経営面や栽培技術など、農業組織へのソフト面での個別の支援ができないか

答

それぞれの課題の解決に向けて支援を行い、競争力の高い農業経営体の育成・確保を図る

水田受委託の促進と景観の保全について

問

生産調整廃止後も不耕作のまま荒地となつている所があるが対策できないか。

答

今年度から人・農地プランの実質化を推進するため、「鹿角市人・農地プラン実質化推進チーム」を設置し、地域の状況把握や情報共有を図るべく、農業者とともに話し合いを進めている。

引き続き、農地の流動化を促進しながら適切な管理に努めていく。

学校統廃合に係る空き校舎の利活用について

問

耐震工事をし、建築年が比較的新しい施設もあるが、早急な活用が考えられないか。

答

旧草木・旧末広小学校は、公募等による民間企業への譲渡を含め、地域経済につながるような利活用策を検討していく。

旧末広小学校のグラウンドの一部については、地元の農事組合法人に対し、園芸メカ団地の集出荷施設等の用地として貸し付ける予定としている。

花輪北小学校は現時点での活用の予定はなく、平元小学校は付属施設のプールを統合校のプールとして、また一部の教室を放課後児童クラブの施設として活用する予定としている。

田口 裕 議員
(無会派)

質問した項目

■農業法人、集落営農組織、認定農業者の課題とその取り組みについて ■水田受委託の促進と景観の保全について ■旧草木小学校、旧末広小学校及び来年4月に統合となる花輪北小学校、平元小学校の活用について



録画配信はこちらから

問

令和4年度以降の成人式のあり方について、どのような方針で対応するのか伺う

答

アンケート調査を行い、新成人となる当事者の意見を最大限に取り入れて、開催方針を決定する

成人年齢について

問

令和4年から民法改正により成人年齢が引き下げられるが、具体的な変更点は。

答

成年年齢が18歳になることにより、親の同意を得ずにさまざまな契約をすることができるようになる。父母の親権に服さなくなる。また、男女の婚姻開始年齢（現在は男18歳、女16歳）が成年年齢に統一され、10年有効のパスポートが取得できるようになる。一方、飲酒や喫煙、大型中型自動車運転免許の取得等については、これまでと同様に20歳の年齢制限が維持される。

マイナンバーカードについて

問

平成27年度からのマイナンバーカードの交付実績と今後の普及対策は。

答

令和2年1月末時点では4412枚を交付し、交付率は県内25市町村で3番目に高い14・5%である。今後は9月からのキャッシュレス決済によるポイント還元や、来年3月からの健康保険証としての利用などが予定されており、制度の周知と併せ、さらなる活用策を図っていく。



録画配信はこちらから

